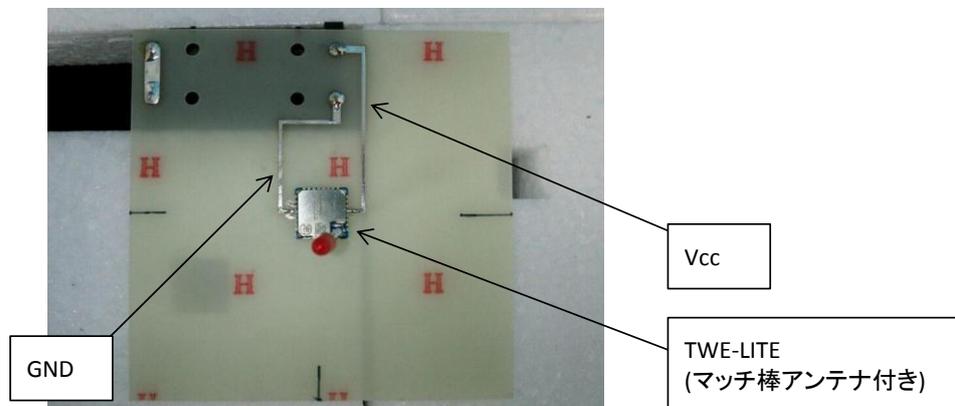


マッチ棒アンテナ使用時の基板設計例

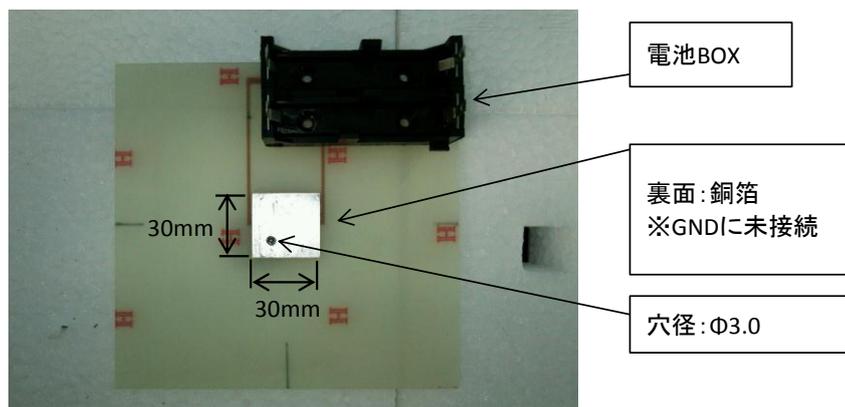
マッチ棒アンテナは、TWE-LITEを実装するプリント基板パターンのレイアウトにより利得が大きく変化します。

- 推奨レイアウト: モジュール裏面に30mm×30mmの銅箔面を作成の上、電池BOX、ベタGNDなどを可能な限り遠ざけます。
(20mm×20mm～40mm×40mmも可、下記特性参照)

●レイアウト例



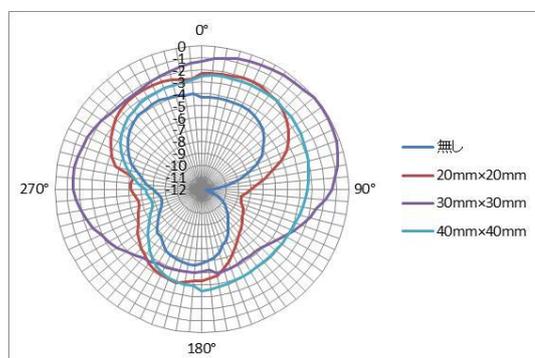
<モジュール実装側>



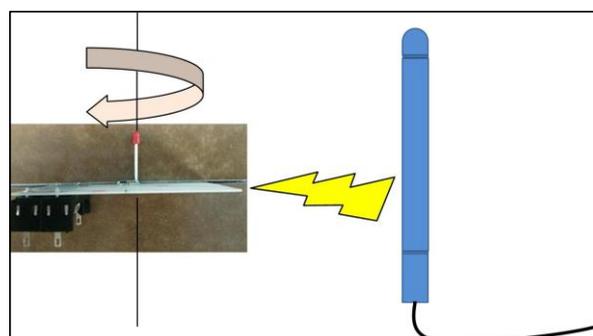
<裏面>

●指向性の変化

- 1)裏面の銅箔の寸法を変化させ、利得の変化を確認しました。



<指向性>



<測定方法>

●実験条件

- 1)プリント基板の材質:FR-4(基板厚:1mm)
- 2)モジュール:TWE-LITE
- 3)アンテナ:マッチ棒アンテナ
- 4)電波暗室で測定し、送受信アンテナの距離は3m